## 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版27号

★平成 22 年 7 月 22 日発行

活動ブログも日々更新中!!

発行 青山大人事務所 土浦市乙戸801-2 電話 <u>029-843-8520</u> FAX <u>029-828-7012</u>

E-mail info@aoyamayamato.net HP http://www.aoyamayamato.net/

012

三川沖小、土浦三中(陸上部主将)、
は、当時、全国最年少の都道府県議
をされる。
第の活性化のため映画の

~青山大人(あおやま やまと)の略歴~1979年土浦市生まれ。現在31歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、 土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に27歳で県議会議員初当選。当時、全国最年少の都道府県議 会議員。08年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画の ロケ地を誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。現在、県議会土木委員会に所属。民主党茨城県連副幹事長、 青年局長。土浦検察審査協会土浦支部長、土浦消防団第27分団員(H20・21年操法大会2番員選手)。

## ●小児救急医療体制充実へ一歩ずつ

3年前から県議会において、子ども救急電話相談の 一層の拡充など、小児救急医療体制の充実について取 り上げてきました。

その後、小児救急医療体制については、平成21年度から筑波メディカルセンター病院が24時間対応となり、深夜帯対応地域が拡充されました。

茨城子ども救急電話相談については、平成 21 年 4 月から相談時間を 1 時間延長 (毎日夜間 18:30~23:30),平成 21 年 10 月から休日昼間の相談開始(日・祝・年末年始 9:00~17:00) など拡充されております。

また、子どもの急病時の家庭での対処法等を解説したパンフレットが配布されることになりました。茨城県のHPからもダウンロードできるので是非ご覧になってください。

## ●<u>食の安全へ~青山が提言した輸入</u> 食品検査情報共有化実現とその後

2年前、中国からの輸入冷凍ギョーザ事件を機に、輸入食品への不安が高まりました。わが国の食料自給率は39%、多くを輸入に依存する状況の中、青山は議会において、輸入食品の安全対策の責務は一義的には国にあるが、都道府県においても補充的に安全対策を強化する必要性を主張し、都道府県ごとに行われていた輸入食品検査の情報共有化を提言しました。

この提言は、多くの新聞にも取り上げられました。 (右の新聞記事を参照)

その後、北関東3県での検査情報共有化が検討され 平成20年7月17日に初会議開催。①輸入食品に関す る検査情報の交換、②検査時期、品目の重複回避、③ 各自治体のホームページの相互リンク、等について実 施を合意。

平成21年11月17日に再び会議を開催。合意を踏まえた後の、同年度輸入加工食品の試験検査実施状況をみると、従来の県単独での検査よりも、より効果的、効率的な実施がなされていることが確認。

平成22年7月1日には三度目の会議を開催。同年 度輸入加工食品の試験検査計画に関する意見交換を 実施。

引き続き、自治体間における検査実施時期の重複や、重視 する検査対象食品が各々異なっていることが確認され、検 査データの共有化も継続することで合意しました。

このように、これまでの県単独での検査よりも、より実効性ある食品安全対策が実現化、順調になされております。

## ●編集後記

昨年から新治の大畑に3反部ほどの畑を借りて、仲間と 一緒にブラックベリーなどを栽培しております。現在、草 取りに悪戦苦闘しております。

畑を始めた理由として、農家の方々とお話をすると、『今の政治家は農家の気持ちや現状をぜんぜんわかっていない』との声をたくさん聞いたからです。そういった中で、仲間と話し合い若干3反部ほどではありますが、畑を借りて始めることにしました。

最近は、草取りやブラックベリーの成長をみるのが楽しみであります。普段、消防服を着て作業をしているので見かけた場合はぜひ、声をかけてください。

東で共有し合うことで、より東で共有し合うことで、より東で共有し合うことで、より東部が出る。とは360品目を検査している。とは360品目を検査の規定に基づいて食品衛生監控は360品目を検査して検査を実施して検査を実施して対の場面別に行っており、同じ食品が他の自治体では360品目を検査しており、の年度は360品目を検査して対方の場面別に行っており、同じ食品が他の自治体でも重複して検査される事態が見ることで、対方の場合のは食品が他の自治体である。

1市の輸入食品検体数は74 7品目にとどまり、横浜市の 1042品目よりも少ないの 1042品目よりも少ないの が実情だ。このほど行われた 県議会一般質問では、青山大 県議会一般質問では、青山大 見てから検討していきたい」 と答弁した。 同室の担当者は「本来なら で検査することは不可能。デタベース化の方法など課題 しか、膨大な輸入品目すべて を検査することは不可能。デタベース化の方法など課題